

universal sound design®

報道関係各位

2019年1月28日

「世界トップレベル」のユニバーサルデザイン計画に採用
“聞こえやすい”対話を支援する「comuoon®」成田国際空港に設置
公共交通機関での「comuoon®」活用が広がる



ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社（本社：東京都港区 代表取締役：中石 真一路、以下『ユニバーサル・サウンドデザイン』）は、当社が展開する対話型支援機器「comuoon®」が、成田国際空港のご案内カウンターに設置されましたことをご知らせいたします。JR 西日本「博多駅」「小倉駅」設置に引き続き、公共機関における「comuoon®」活用が広がり始めています。

成田国際空港は“日本の表玄関”として、国内から海外まで幅広い方が利用する中、老若男女、障害を抱える方、高齢の方など全ての方が安全に円滑に利用できる空港を目指し、「世界トップレベル」水準の「成田国際空港ユニバーサルデザイン基本計画」を推進しています。この度、双方の想いが共鳴し、成田国際空港のユニバーサルデザイン環境整備の一環として、“聞こえづらい”悩みをもつ方の、“聞こえやすさ”改善と相互コミュニケーションが叶う対話支援型機器「comuoon®」の設置に至りました。「comuoon®」は空港内の「ご案内カウンター」の一部に設置されており、“聞こえない”ことでの不安を解消する一助を担います。

ユニバーサル・サウンドデザインは、新たな時代の幕開けとともに、“聞こえやすい”社会の実現に向けて、さらなる「comuoon®」活用の幅を広げていくとともに、誰もが安全に快適に過ごせる社会づくりを目指してまいります。

「comuoon®」について



「comuoon®」は、聴こえが気になる方に対して、話者側から歩み寄るといったコミュニケーション支援の新しい形を実現した、卓上型会話支援システムです。補聴器のように従来の“聴き手”側のみの問題に焦点を当てるのではなく、“話し手”の声を聞きやすい音質に変換しコミュニケーションを支援します。

2016年度と2017年度グッドデザイン賞を受賞。「グッドデザイン・ベスト100」にも選出されました。

「comuoon®」の活用による「聴こえのユニバーサルデザイン」は、医療機関や療育機関、金融機関を中心に4,200ヶ所以上施設で導入され、販売累計台数は8,100台を突破。（2018年5月時点）。さらに米国脳科学関連学会「14th Annual World Congress of Brain Mapping and Therapeutics」および、「第118回日本耳鼻咽喉科学会通常総会・学術講演会」において、脳科学的視点から難聴者に対する語音弁別の有用性を発表し、音の大きさではなく「明瞭度」が難聴者のコミュニケーションにおいて必要であることを証明しました。「comuoon®」は難聴者への生活支援ツールならびに、聴覚リハビリツールとして活用することが可能です。

ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社 について

universal sound design®

- ・設立 : 2012年4月
- ・資本金 : 233,310,000円
- ・代表者 : 代表取締役 中石真一路（なかいし しんいちろう）
- ・所在地 : 東京都港区海岸 1-9-11 マリンクス・タワー2F
- ・事業内容 : 聴こえ支援機器の設計・開発・販売
各種店舗、建築物および室内空間のサウンドデザイン企画、制作コンサルタント業
スマートフォンアプリケーションの設計・デザイン・開発
スピーカーおよびアンプなどの音響機器の設計・製造・販売
PAおよびSR用音響機器の改修および修理
- ・URL : <http://u-s-d.co.jp/>